

平成28年度施策評価調書

整理番号	7
評価担当課	保健センター
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	感染症予防の推進(2-1-3)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	1	健康の保持増進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	感染症発生動向の把握及び予防に関する正しい知識の普及啓発を図り、感染症の予防と重症化を防ぐ
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	高齢者予防接種(インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌) 乳幼児等定期予防接種(BCG、4種混合、ヒブ、小児肺炎球菌、成人の風しん等)
施策の課題	乳幼児については予防接種法に基づき実施しており、定期接種(A類:集団予防に重点、本人に努力義務、接種勧奨あり)化が進んでいる。高齢者は肺炎球菌定期接種(B類:個人予防に重点、努力義務、接種勧奨なし)化され、それぞれ病気に対する抵抗力が弱いことから予防対策が重要となっている。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
乳幼児等予防接種	接種率(BCG)	目標値	100	100	100	
		実績値	99	100	99	
		進捗率	99%	100%	99%	
高齢者予防接種	接種数(インフルエンザ)	目標値	4,500	4,500	4,500	
		実績値	3,921	3,988	3,854	
		進捗率	87%	89%	86%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	平成26年10月から水痘・高齢者の肺炎球菌が、平成28年4月から日本脳炎予防接種が定期接種化され、感染症予防と重症化予防が図られてきていることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

平成28年10月からB型肝炎予防接種も定期化に向け、準備が進められており、今後も適切な時期に安心して受けられる体制を推進していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	乳幼児等予防接種	・定期予防接種、成人の風しん予防接種一部助成	41,074	a	a	a	a	a	A	A	A
2	高齢者予防接種	・インフルエンザ、肺炎球菌予防接種料金の一部助成	6,446	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	7	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	健康福祉部保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	感染症対策事業(乳幼児等定期予防接種)			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	3	感染症予防の推進
		実施計画事業	2	予防接種事業の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	感染症や子宮頸がんを予防し、重症化を防ぐ				
対象(何を又は誰を)	各種予防接種毎に対象年齢あり				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	対象年齢内に受けることで、全額費用の助成あり				
意図(どのような成果を期待しているか)	適切な時期に予防接種を受けることで感染症を未然に防ぐ				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度)	無
根拠法令・条例等	予防接種法				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	定期予防接種率(BCG)	目標	100	100	100	100	
			実績	99	100	99	100	
	2	定期外予防接種人数(成人の風しん予防接種)	目標	450	210	80	60	
			実績	136	37	33	60	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	35,432	43,000	41,074	57,950	支出 ・予防接種委託料・負担金 36,753千円 ・ワクチン料 1,067千円 ・その他 3,254千円
国庫支出金					
地方債					
その他					
一般財源	35,432	43,000	41,074	57,950	
人件費	1,337	1,326	1,298	1,249	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	36,769	44,326	42,372	59,199	
対前年比(%)	—	121	96	140	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	8	10	10	事業費/接種人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成26年10月より水痘予防接種が定期接種化され、平成28年10月よりB型肝炎予防接種が定期接種化が予定されている。子宮頸がんについては、接種との因果関係を否定できない副反応が見られ、積極的勧奨を中止している。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は総合計画記載事業である。予防接種に関する知識の普及に努め、各予防接種を標準的な接種年齢で接種することにより、感染症のまん延を未然に防止することができる。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	予防接種率を高めることにより、対象者の健康を守ることができる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	適切な時期に接種できるよう個別接種(委託医療機関)としており、国が認定したワクチンを使用していることから、コスト削減の余地がない。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	法定接種のため全額無料(成人の風しん予防接種は一部助成)となっている。接種対象者に対して個人通知を行っている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	高い接種率となっていることからほぼ達成されるものである。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	個別接種により適切な時期に予防接種が受けられるようきめ細やかな周知と勧奨を行っており、予防接種に対する意識の高さもあり接種率も高率となっている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	健康福祉部保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	感染症対策事業(高齢者予防接種)			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	3	感染症予防の推進
		実施計画事業	2	予防接種事業の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	感染症を予防し、重症化を防ぐ				
対象(何を又は誰を)	インフルエンザ・肺炎球菌～65歳以上または60歳以上の一定の障がいのある者				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	接種料金の一部を助成し、受診者の負担軽減を図り、受診率向上に努めている。各接種費用の一部助成については国保加入者は国保事業会計で負担。				
意図(どのような成果を期待しているか)	高齢者の健康の保持増進と疾病予防				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	13年度	終期設定	有(終期年度)	無
根拠法令・条例等	予防接種法				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	インフルエンザ予防接種人数	目標	4,500	4,500	4,500	4,500	
			実績	3,921	3,988	3,854	4,210	
	2	高齢者の肺炎球菌予防接種人数	目標	200	200	200	200	
			実績	299	801	326	500	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	5,104	8,106	6,446	7,637	支出
国道支出金	595	184			・インフルエンザ予防接種委託料等 4,758千円
地方債					・肺炎球菌予防接種委託料等 1,688千円
その他	1,290	2,358	1,669	2,795	
一般財源	3,219	5,564	4,777	4,842	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	5,772	8,769	7,095	8,261	
対前年比(%)	—	152	81	116	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	1	2	2	事業費/接種人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	高齢者肺炎球菌の予防接種については、平成18年度より市の独自助成(費用の一部)事業として開始し、平成26年10月から定期接種化で対象年齢が限定されたが、従来からの対象年齢である65歳以上を継続実施している。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は総合計画登載事業である。肺炎は我が国(名寄市も同様)における死亡原因の第3位で、日常的に生じる成人の肺炎のうち1/4~1/3は肺炎球菌が原因と考えられており、体力や免疫力が低下している高齢者が発症すると症状が重篤化しやすいことから接種により危険度の低下が期待される。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	予防接種率を高めることで、高齢者の健康を守ることができる。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	肺炎による死亡者数はほぼ横ばいとなっており、予防接種による一定の効果はあったものと思われる。また、インフルエンザについても、罹患者は増加していないことから同様な効果があった。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	接種者より自己負担を徴収し、残りについて助成しており適正である。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	ほぼ目標を達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	公費負担(一部)により一定の接種率が維持され、病気に対する予防効果が見込まれる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり